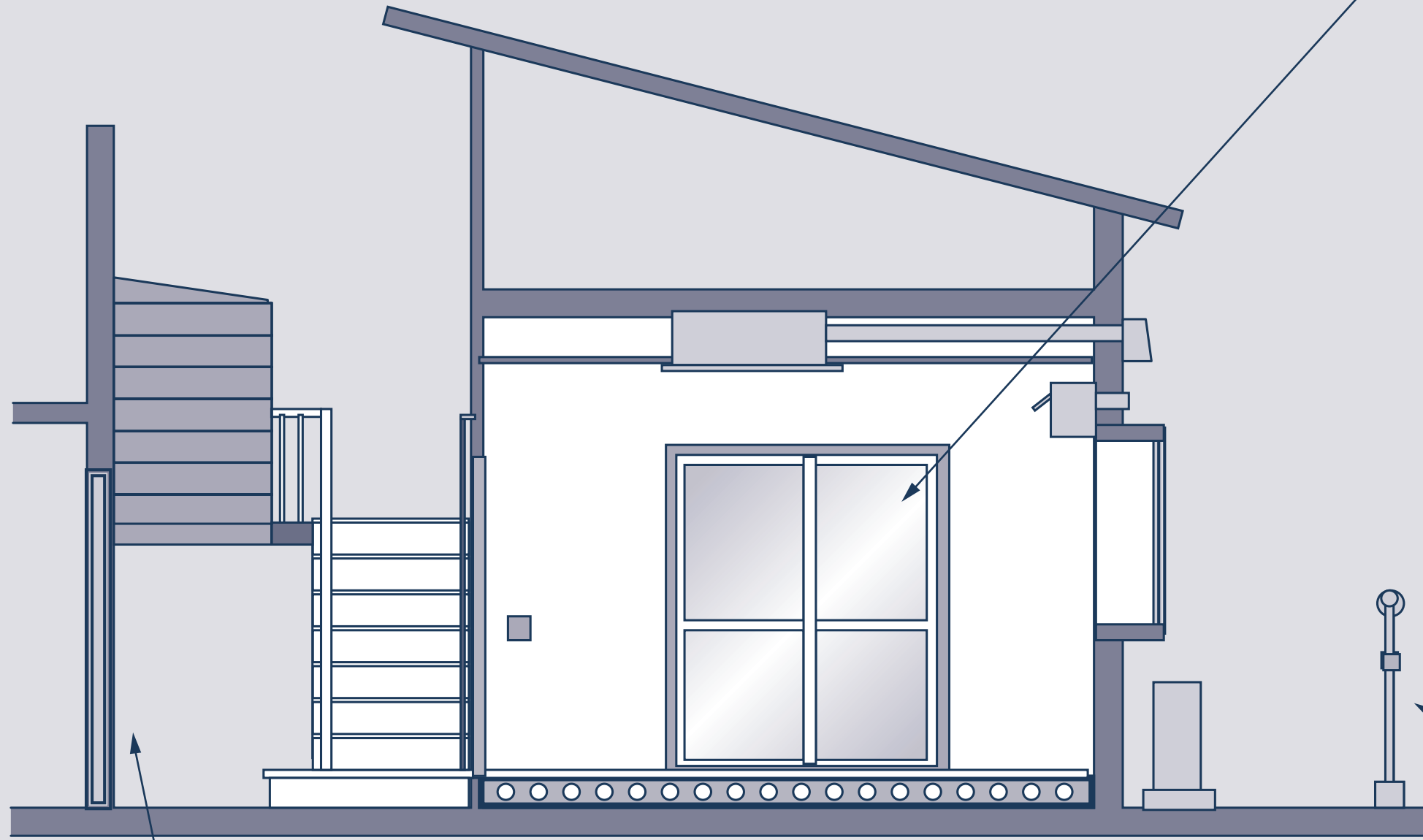


(6) 外装まわりの不具合事例 (図解)

※ は特に要注意箇所



アルミサッシ (RC集合住宅用)

- [S01] サッシ取付け部の開口寸法が狭い (又は広い)
- [S02] 戸先框が枠に接触して障子が外せない
- [S03] 下枠に反りや曲があるため隙間風が進入、漏水の発生
- [S04] 障子の閉鎖時にキッチリ閉まらず、金具のかかりが悪い
- [S05] 引違い戸／網戸のはずれ止め部品をセットしていないため戸が外れる
- [S06] 出窓の水抜き孔とALC板の取り合いをシールで塞いだため室内漏水した
- [S07] サッシ枠及び障子の施工精度の不良や異物の付着等での障子の開閉時に異音が発生する
- [S08] サッシ枠及び障子にモルタルが固着したり、溶接の火花で気密材等が損傷すると、室内に隙間風が進入、風切り音が発生、漏水の発生
- [S09] サッシ枠、障子の表面に変色がある
- [S10] 障子／戸の開閉操作がスムーズにできない
- [S11] ハンドルや締め金具部品の操作が重く異音がある

アルミサッシ (木造戸建住宅用)

- [T01] サッシの変形・損傷
- [T02] サッシの気密・水密不足、開閉不具合等
- [T03] フローリング材の押付けによる枠変形
- [T04] サッシ下枠の前倒れ
- [T05] サッシおよびサッシ周りからの雨水浸入
- [T06] モルタル塩素分による異常腐食
- [T07] 開き窓の隙間から気密・水密漏れ
- [T08] 引違い窓の隙間から気密漏れ
- [T09] サッシ周りからの雨水浸入
- [T10] サッシ障子／網戸障子の脱落
- [T11] 障子開閉時に枠にぶつかる
- [T12] 鍵の作動時に引っ掛かりがある
- [T13] サッシ召合せ部より水しぶき発生

スチール玄関ドア (RC集合住宅)

- [U01] 気密性が高い為、ドアクローザではドアを閉めきることができないことがある
- [U02] 玄関扉の開閉不具合
- [U03] キーシステムキープランがあいまいで錠前が手配できない
- [U04] 玄関ドア本体のアンカー位置と、取り付け部のアンカー位置が合っていない
- [U05] 養生面に物がぶつかる等による変形・損傷
- [U06] 扉の錠前取付用加工不備
- [U07] 玄関錠のキーシステムプランが設計の計画と違う、子鍵本数が違う
- [U08] 外装板など切断時の鉄粉がステンレス枠に付着し腐食
- [U09] 溶接の火花などによる焼け

- [U10] プッシュプルハンドル部の表面板に擦り傷が発生する (ハンドル部は養生シートが被っているが、その下の表面板の部分は養生シートがない (ハンドルを取り付けるときに剥がす) のが通常であるため)
- [U11] 玄関扉のドアクローザの取付けビスがゆるむ
- [U12] 丁番のビスがゆるむ
- [U13] ドアがバタンと閉まる、または閉まりきらない
- [U14] ねじれ施工によるドア枠と玄関戸のすき間から光が入る
- [U15] 玄関扉閉扉時にラッチング (仮施錠) しない
- [U16] 子鍵ナンバーと部屋ナンバーリストが違う
- [U17] 玄関扉の錠前の作動不良

- [U18] 玄関扉の隙間から光漏れ
- [U19] ドア本体の外部化粧面が近接の給湯機排ガスで腐食
- [U20] ドア枠の土間空洞に腐食性排水が流れ込み腐食せん孔
- [U21] さび、変色
- [U22] 扉閉鎖速度の不具合
- [U23] 玄関扉の閉鎖速度が速い
- [U24] 子鍵の操作時に回転が硬い
- [U25] 子鍵の抜き差しがスムーズでない、または重い

アルミ玄関ドア (木造戸建住宅)

- [V01] ドア本体の外部化粧面が腐食
- [V02] 異種金属接触による腐食
- [V03] 養生面に物がぶつかる等による変形・損傷
- [V04] 玄関扉の錠前の作動不良
- [V05] ステンレス部分の貫いさび
- [V06] 玄関扉の隙間から光漏れ
- [V07] ドア下枠の土間空洞部に腐食性排水が溜まり腐食発生
- [V08] 玄関扉の隙間から気密漏れ
- [V09] 玄関扉のドアクローザの取付けビスがゆるむ
- [V10] 玄関扉の開閉不具合
- [V11] 扉閉鎖速度の不具合
- [V12] 子鍵での回転が硬い

墜落防止手すり

- [W01] 強度検証をせずに、あるいは間違っていて支柱ピッチを決めたために所定の強度が出ない
- [W02] コア内部に雨水が溜まっている
- [W03] アンカーの仕様が異なる
- [W04] パラペット躯体厚が施工図書と異なる
- [W05] 支給された無収縮モルタルの仕様が異なる。また使用期限切れ
- [W06] 墜落防止手すりの支柱と横材をとめるビスやナット類の脱落
- [W07] 支柱補強材の溶接不良による台風時破壊
- [W08] あと施工アンカーの施工不良による手すりの揺れ
- [W09] 笠木ジョイントカバー及び取り付けビスの付け忘れ

- [W10] 支柱内に雨水が浸入し形材及び補強材が腐食
- [W11] アンカー溶接の火花による手すりや躯体などの焦げ付き
- [W12] あと施工アンカーの穿孔中に鉄筋に当たる
- [W13] 支柱まわりのシーリング施工不良によるベースポストの腐食
- [W14] 支柱から水が出ている
- [W15] 凍害などによる部材のふくれ、破損
- [W16] 手すり連結部のナット類のゆるみ
- [W17] 手すりの揺れ、ぐらつき
- [W18] 熱伸びによる笠木等部材の変形および異音
- [W19] 養生外した後の部材の傷、へこみ
- [W20] 躯体に亀裂がある

【確認項目表】

(6) 外装まわり [S] アルミサッシ (RC造集合住宅用)

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

[S**] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、[S**] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計									
施工前準備	現場確認	[S01] サッシ取付け部の開口寸法が狭い(又は広い)	●サッシ取付け部の開口寸法や下地補強の配置状況	●施工図書と開口周りの目視照合 ●寸法計測	○				
施工中	取付け 精度	[S02] 戸先框が枠に接触して障子が外せない	●施工状況、取り付け精度、枠と障子のかかり寸法	●メーカー指定の施工要領を照合 ●許容寸法の確認 ●目視と計測		○	(○)		
		[S03] 下枠に反りや曲があるため隙間風が進入、漏水の発生	●建具の作動状況 ●取り付け施工精度 ●枠と障子のかかり寸法	●納まり状況と施工図面の照合 ●メーカー指定の施工要領を照合 ●許容寸法の確認 ●目視と計測		○	(○)		
施工後・完成時	部品調整	[S04] 障子の閉鎖時にキッチリ閉まらず、金具のかかりが悪い	●建具の建て付け状況と金物部品の作動状況	●目視、触診		(○)	○		
		[S05] 引違い戸／網戸のはずれ止め部品をセットしていないため戸が外れる	●はずれ止め部品が注意ラベル通りにセットしてあること ●適正な作動状況	●目視、触診			○		
	取り合い	[S06] 出窓の水抜き孔とALC板の取り合いをシールで塞いだため室内に漏水した	●サッシ周辺のシーリング状況。内装、その他に漏水痕跡の有・無	●目視、触診、雨水進入経路			○		
	養生清掃	[S07] サッシ枠及び障子の施工精度の不良や異物の付着等での障子の開閉時に異音が発生する	●建具の作動状況、施工精度 ●付着物の有・無	●許容寸法の確認 ●目視、触診			○		
		[S08] サッシ枠及び障子にモルタルが固着したり、溶接の火花で気密材等が損傷すると、室内に隙間風が進入、風切り音が発生、漏水の発生	●サッシ枠及び気密材の損傷の有・無、気密材の縮みの有・無	●目視、触診			○		
[S09] サッシ枠、障子の表面に変色がある	●腐食進行の有・無。異物やモルタル付着の有・無	●目視、触診			(○)	○			
試運転	調整	[S10] 障子／戸の開閉操作がスムーズにできない	●建具の建て付け状況、施工精度	●枠と障子のかかり寸法 ●許容寸法の確認 ●目視、計測			(○)	○	
		[S11] ハンドルや締め金具部品の操作が重く異音が発生する	●金物部品の作動状況	●金物取り付け説明図書との照合 ●目視、計測			(○)	○	

【施工以外の要因】

業者間連携等									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 取付工事は、建具工事に相当します。

【確認項目表】

(6) 外装まわり 【T】アルミサッシ(木造戸建住宅用)

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

【T**】の番号は、不具合事例(図解)の図中の番号と対応している。

なお、【T**】のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計									
施工前準備	保管	[T01] サッシの変形・損傷	●保管状態は注意事項を守っているか	●目視	○				
	躯体開口	[T02] サッシの気密・水密不足、開閉不具合等	●開口部の寸法/水平度/垂直度の確認 ●窓台の強度補強状態の確認 ●組立てねじの取付け忘れや、緩みがないかの確認	●採寸、水準器 ●図面との照合 ●目視、触診	○				
施工中	取付け	[T02] サッシの気密・水密不足、開閉不具合等	●サッシ枠の水平/垂直度(見附/見込み方向)及び対角寸法は基準寸法内か ●枠/障子の鼓/太鼓の確認	●採寸、水準器		○			
		[T03] フローリング材の押付けによる枠変形	●サッシ下枠の水平度	●採寸、水準器		○			
		[T04] サッシ下枠の前倒れ	●ネジ釘施工状態の確認	●目視		○	(○)		
	シーリング	[T05] サッシおよびサッシ周りからの雨水浸入	●防水シート処理状況の確認 ●納まり状況確認 ●障子ガラス押さえのコーナー部、継ぎ部の隙間の確認	●目視、触診	(○)	○	(○)		
養生	[T06] モルタル塩素分による異常腐食	●サッシとの接触部分に異常腐食の進行が見られるか	●目視		○	(○)			
施工後・完成時	取付け	[T07] 開き窓の隙間から気密・水密漏れ	●サッシ枠・障子のチリ寸法は基準寸法内か ●気密材は機能しているか	●採寸 ●気密材の当たりを確認		(○)	○	(○)	
		[T08] 引違い窓の隙間から気密漏れ	●障子の建付けは基準寸法内か	●採寸		(○)	○	(○)	
	シーリング	[T09] サッシ周りからの雨水浸入	●枠と外壁(四周)のシーリング切れの確認 ●下枠水抜き穴をシーリング等でふさいでいないかの確認	●目視、触診			○	(○)	
	部品調整	[T10] サッシ障子/網戸障子の脱落	●サッシ障子/網戸外れ止めの状態確認	●目視 ●サッシ障子/網戸の開閉			○	(○)	
試運転	最終調整	[T11] 障子開閉時に枠にぶつかる	●サッシ枠・障子のチリ寸法は基準寸法内か	●採寸			(○)	○	
		[T12] 鍵の作動時に引っ掛かりがある	●開閉時に引っ掛かり等が無い ●サブロックが作動するか	●鍵の開閉			(○)	○	
		[T13] サッシ召合せ部より水しぶき発生	●建付け調整項目実施の有無	●チェックリストによる確認			(○)	○	

【施工以外の要因】

業者間連携等									

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 取付工事は、建具工事に相当します。

【確認項目表】

(6) 外装まわり 【U】 スチール製玄関ドア (RC造集合住宅用)

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

【U**】の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、【U**】のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計		[U01] 気密性が高い為、ドアクローザではドアを閉めきる事ができないことがある				○			
		[U02] 玄関扉の開閉不具合	●室内外の圧力差の程度確認	●玄関スペースの閉鎖性、換気口設置有無によるドアクローザ番手選定		○		○	
		[U03] キーシステムキープランがあいまいで錠前が手配できない	●設計図面にキーシステムプランを明確に指示する	●設計図書の項目にキーシステムプランを設ける		○			
施工前準備	現場確認	[U04] 玄関ドア本体のアンカー位置と、取り付け部のアンカー位置が合っていない	●躯体のアンカー位置及び下地補強は施工図書どおりに配置されているか	●施工図書と開口回りの目視		○			
	保管	[U05] 養生面に物がぶつかる等による変形・損傷	●保管方法の確認	●目視		○	(○)	(○)	
	製作	[U06] 扉の錠前取付用加工不備	●扉の錠前取付用加工(切欠)等が正しいか	●目視		○			
	手配	[U07] 玄関錠のキーシステムプランが設計の計画と違う、子鍵本数が違う	●設計図面のキーシステムプランどおり手配されているか	●キーシステムプランが発行されていれば玄関錠のグループ、子鍵本数を確認する		○			
施工中	養生	[U08] 外装板など切断時の鉄粉がステンレス枠に付着し腐食	●施工完了時に付着の有無を確認	●目視			○	(○)	(○)
		[U09] 溶接の火花などによる焼け	●溶接時の養生の確認	●目視			○	(○)	
		[U10] プッシュプルハンドル部の表面板に擦り傷が発生する(ハンドル部は養生シートが被っているが、その下の表面板の部分は養生シートがない(ハンドルを取り付けるときに剥がす)のが通常であるため)	●錠・ハンドル取付時に表面板に傷がついていないかを確認	●目視確認			○	(○)	
	締付け	[U11] 玄関扉のドアクローザの取付けビスがゆるむ	●ドアクローザ本体及びブラケット取付ビスの締付確認	●触診			(○)	(○)	○
		[U12] 丁番のビスがゆるむ	●扉吊り込み時に確認	●トルク設定ドライバで締付け力確認			(○)	○	
	部品調整	[U13] ドアがボタンと閉まる、または閉まりきらない	●スピードの調整と空調の確認	●目視			○	(○)	(○)
		[U14] ねじれ施工によるドア枠と玄関戸のすき間から光が入る	●施工状況はメーカー指定の施工要領に準じているか否か	●目視と計測(枠と障子のかかり寸法)			○	(○)	
[U15] 玄関扉閉扉時にラッチング(仮施錠)しない		●閉扉時に錠のラッチが枠のストライクの穴に納まっているか	●扉の開閉			○	(○)	(○)	
確認	[U16] 子鍵ナンバーと部屋ナンバーリストが違う	●玄関錠と子鍵合わせを確実にこなす	●子鍵合わせをおこない部屋ナンバーリストと照し合せを行う				○		
施工後・完成時	部品調整	[U17] 玄関扉の錠前の作動不良	●鍵が通常の使用状態で機能するかの確認 ●錠部品が全て正常に取り付いているか	●鍵の開閉 ●目視			○	(○)	
	建て付け調整	[U18] 玄関扉の隙間から光漏れ	●エアタイトが密着しているか	●目視			○	(○)	
試運転	周辺環境	[U19] ドア本体の外装化粧面が近接の給湯機排ガスで腐食	●施工完了引渡し時に腐食の有無を確認	●目視				○	
		[U20] ドア枠の土間空洞に腐食性排水が流れ込み腐食せん孔	●施工完了引渡し時に腐食の有無を確認	●目視				○	
		[U21] さび、変色	●やわらかい布でからぶき、水ぶき、中性洗剤で定期的にお手入れをする						
	最終調整	[U22] 扉閉鎖速度の不具合	●扉閉鎖速度は適正基準か確認	●計測(閉鎖時間)			○		
		[U02] 玄関扉の開閉不具合	●丁番の芯ズレがないか	●扉の開閉			(○)	○	
		[U23] 玄関扉の閉鎖速度が速い	●クローザの閉鎖速度は正常か	●扉の開閉			(○)	○	
		[U24] 子鍵の操作時に回転が硬い	●枠側の錠受けとデットボルトの位置関係の調整	●建付けの調整					○
	[U25] 子鍵の抜き差しがスムーズでない、または重い	●子鍵の全ての刻み部分を鉛筆でなぞるように黒く塗り、その子鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをする ●子鍵の定期的なお手入れをする歯ブラシ等で刻み部分や溝の汚れを掻き出してください						鍵穴に市販の合成潤滑剤を注油はしないで下さい 油がほこりを呼び動きを悪くします	

【施工以外の要因】

業者間連携等									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 取付工事は、建具工事に相当します。

[確認項目表]

(6) 外装まわり [V] アルミ玄関ドア (木造戸建住宅用)

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

[V**] の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、[V**] のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

[計画・設計、施工要因]

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の (○) は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計	環境確認	[V01] ドア本体の外部化粧面が腐食	●腐食性ガス発生源の有無を確認	●近隣の状態確認	○				
		[V02] 異種金属接触による腐食	●化粧材の材質を確認	●図面を参照	○				
施工前準備	保管	[V03] 養生面に物がぶつかる等による変形・損傷	●保管方法の確認	●目視	○	(○)	(○)		
	部品取付け	[V04] 玄関扉の錠前の作動不良	●錠が通常に掛かるか ●錠部品が全て正常に取り付いているか	●錠の開閉 ●目視	○	(○)	(○)		
	環境確認	[V05] ステンレス部分の貫きさび	●表面状態は正常か	●目視	○	(○)	(○)		
施工中	養生	[V03] 養生面に物がぶつかる等による変形・損傷	●保管方法の確認	●目視	○	(○)	(○)		
	取付け	[V04] 玄関扉の錠前の作動不良	●錠が通常に掛かるか ●錠部品が全て正常に取り付いているか	●錠の開閉 ●目視	○	(○)	(○)		
		[V06] 玄関扉と枠の隙間から光漏れ	●玄関扉枠の水平/垂直度（見附/見込み方向）及び対角寸法は基準寸法内か ●玄関扉枠の鼓/太鼓の確認 ●エアタイトが密着しているか	●採寸、水準器、目視		○	(○)	(○)	
	周辺環境	[V05] ステンレス部分の貫きさび	●表面状態は正常か	●目視	○	(○)	(○)		
[V07] ドア下枠の土間空洞部に腐食性排水が溜まり腐食発生		●土間の空洞部の有無確認	●目視		○				
施工後・完成時	建て付け調整	[V08] 玄関扉の隙間から気密漏れ	●建て付けは基準寸法内か	●採寸		(○)	○	(○)	
試運転	最終調整	[V09] 玄関扉のドアクローザの取付けビスがゆるむ	●本体及びブラケット取付けビスの締付確認	●扉の開閉		(○)	(○)	○	
		[V10] 玄関扉の開閉不具合	●扉の動作は正常か ●扉開閉時に異音がないか ●蝶番の芯ズレがないか	●扉の開閉 ●聴診		(○)	(○)	○	
		[V11] 扉閉鎖速度の不具合	●扉閉鎖速度は適正か	●計測（閉鎖時間）		○			
		[V12] 子鍵での回転が硬い	●枠側の錠受けとデットボルトの位置関係の確認	●目視		(○)	(○)	○	

[施工以外の要因]

業者間連携等									

[その他情報] 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用

- 取付工事は、建具工事に相当します。

【確認項目表】

(6) 外装まわり 【W】 墜落防止手すり

不具合例は、施工関連以外の設計・他工事に関連する不具合例も含まれている。キーワードは事象又は原因を示す。

【W**】の番号は、不具合事例（図解）の図中の番号と対応している。

なお、【W**】のように下線のあるものは、重複記載の不具合を示す。

【計画・設計、施工要因】

注) 当項目表は、一般的な事例であり、メーカー、機種、現場状況により異なります。

注) 検査・確認時期の(○)は、必要に応じて実施、あるいは実施するのが望ましい項目を示す。

不備がある場合の不具合例			検査・確認 事項		検査・確認時期				備考
要因・時期	キーワード	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工時			完成時	
					施工前	施工中	施工後	試運転時	
計画・設計	打合せ 確認	[W01] 強度検証をせずに、あるいは間違えて支柱ピッチを決めたために所定の強度が出ない	● 図面は十分にチェックされているか	● 計算による確認 ● 要領書による確認	○				
施工前準備	養生	[W02] コア内部に雨水が溜まっている	● 雨水やごみが溜まっていないか確認	● 目視にて確認	○				
	躯体仕様確認	[W03] アンカーの仕様が異なる	● アンカーの仕様は、施工図の仕様どおりか	● 施工要領書の仕様確認(目視)	○				
		[W04] パラベットの躯体厚が施工図書と異なる	● 施工図書どおりに施工されているか確認する	● 施工図書に基づき躯体厚寸法を計測	○				
		[W05] 支給された無収縮モルタルの仕様が異なる。また使用期限切れ	● 施工要領書どおりのものが支給されているか確認	● 袋に明記されている内容を確認	○				
施工中	取付け	[W06] 墜落防止手すりの支柱と横材をとめるビスやナット類の脱落	● 各部材は堅固に固定されているか	● 目視、触診		○	(○)		
		[W07] 支柱補強材の溶接不良による台風時破壊	● 支柱足元は堅固に固定されているか	● 施工時施工図書に基づき目視確認		○			
		[W08] あと施工アンカーの施工不良による手すりの揺れ	● アンカーメーカー指定の施工手順通りか	● 施工手順の確認、アンカー引張試験		○	(○)		
	仕様	[W09] 笠木ジョイントカバー及び取り付けビスの付け忘れ	● 施工図書どおりに施工されているか確認する	● 施工時施工図書に基づき目視確認		○	(○)		
		[W10] 支柱内に雨水が浸入し形材及び補強材が腐食	● 施工要領はメーカー指定の方法か	● 施工図書に基づき開口回りの目視		○	(○)		
		[W11] アンカー溶接の火花による手すりや躯体などの焦げ付き	● 養生がされているか確認	● 目視確認		○			
その他	[W12] あと施工アンカーの穿孔中に鉄筋に当たる	● 施工図書どおりに施工されているか確認する	● 現場監督者への確認	(○)	○				
施工後・完成時	シーリング	[W13] 支柱まわりのシーリング施工不良によるベースポストの腐食	● 支柱足元は堅固に固定されているか	● 施工図書による施工状態の目視確認			○		
	その他	[W14] 支柱から水が出ている	● 支柱まわりからの水の浸入経路を確認する	● 目視		(○)	○		● 止水対策の確認
		[W15] 凍害などによる部材のふくれ、破損	● 部材内に水が介在しているか確認	● 目視、触手		(○)	○		● 止水対策の確認
試運転	締付け	[W16] 手すり連結部のナット類のゆるみ	● 各部材は堅固に固定されているか	● 目視、触手		(○)	○		
		[W17] 手すりの揺れ、ぐらつき	● 施工図、要領書どおりに施工されているか確認	● 目視、触手		(○)	○		
	養生	[W18] 熱伸びによる笠木等部材の変形および異音	● 熱伸びに対応した加工がなされているか	● 目視			○		
		[W19] 養生外した後の部材の傷、へこみ	● 主要部材(笠木、支柱)の表面の点検	● 目視		(○)	○		● 養生基準の確認

【施工以外の要因】

業者間連携等	躯体	不具合例	検査・確認内容	検査・確認方法・判定方法	施工前	施工中	施工後	試運転時	備考
		[W20] 躯体に亀裂がある	● モルタル充填に問題はないか ● 無理な荷重がかかっていないか	● 現場監督者と確認					

【その他情報】 建設業法等の法律の適用、各種資格の適用